

## 重要取組シート

消防局 救急部

取組項目		住民の生命を守る救急体制の充実
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染防止衣やマスク等の感染防止資器材が相当数必要のため、継続的に納入・備蓄しておくことが必要である。</li> <li>○高齢化の進展等により救急需要が増加し、救急医療機関の逼迫状況により入院先が決定せず、救急隊が長時間現場に留まり対応することがあるため、救急隊数を確保しておくことが必要である。</li> </ul>
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染防止資器材備蓄計画に基づき、救急隊等の感染防止資器材を整備する。</li> <li>○救急需要が増加すると予測される時期に、あらかじめ臨時救急隊を増隊配置するほか、突発的に救急需要が増加した際には、直ちに臨時救急隊を編成する体制を構築する。</li> <li>○廃車予定であった救急車両を活用した搬送体制を整備する。</li> <li>○転院搬送依頼のあった救急要請の一部を、民間救急事業者に委託する体制を整備する。</li> <li>○救急告示医療機関の個別訪問や医療機関との各種調整会議等に参加し、円滑な救急搬送と受入体制につなげる。</li> <li>○「まちかど救急ステーション事業」を推進し、登録施設数の増加を図る。</li> <li>○「AED マッピング救命医療研究」により、AED 空白地及び空白時間帯に AED を設置することの効果、並びに AED が現場に届く仕組みを構築し救命率への影響を検証する。住民の方々に対して各種救命講習を実施する。</li> <li>○住民の方々に対して各種救命講習を実施する。</li> <li>○堺市消防局応急手当市民インストラクター制度を充実させ、応急手当普及員による応急手当講習の実施を促進する。</li> <li>○「救急安心センターおおさか・#7119」等を広く普及啓発する。</li> </ul>
スケジュール	前期 (～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 令和7年度臨時救急隊編成計画の策定(4月)</li> <li><input type="checkbox"/> 民間救急事業者を活用し搬送できる体制の整備(4月～)</li> <li><input type="checkbox"/> 必要な感染防止資器材の検討及び納入事務(4月～)</li> <li><input type="checkbox"/> 「まちかど救急ステーション事業」に参画いただいていない AED 設置施設を個別訪問し、協力の依頼(4月～)</li> <li><input type="checkbox"/> 大学と連携し、GIS(地理情報システム)を用いた、救急隊到着前の AED 使用実態及び AED の有効な活用方法等の分析・研究(4月～)</li> </ul>
	後期 (～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 祭礼時における臨時救急隊の編成(10月)</li> <li><input type="checkbox"/> 年末年始における臨時救急隊の編成(1月)</li> <li><input type="checkbox"/> 感染防止資器材の納入(～2月)</li> <li><input type="checkbox"/> 1万人以上の住民に対する各種救命講習の実施(～3月)</li> </ul>
	次年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 感染防止資器材備蓄計画に基づく資器材の納入・備蓄(年度計画)</li> </ul>

進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	2- (2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実	
	寄与する KPI		目標値 (2025年度)
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 3	すべての人に健康と福祉を
	寄与する KPI		目標値 (2025年度)